

雄勝硯生産販売協同組合 雄勝硯生産販売協同組合（宮城県）



「雄勝石に関わる復興ビジョン検討委員会事業」

【事業目的】

東日本大震災で町の中心部が壊滅状態となっている石巻市雄勝町には、600年の伝統を誇る国指定伝統的工芸品の雄勝硯がある。今回の大震災では、雄勝硯伝統産業会館や販売施設、各工房やスレート工場等の殆どが消滅した。硯以外のクラフト製品の販売拡大に向けて活動展開の矢先でもあった。

雄勝硯生産販売協同組合では、国や県等の支援により切断機械と磨き機械の基本的な加工機を導入し注文に対応しているが、本格的生産には程遠い状態である。

本事業では、宮城や地域の顔となっている雄勝石（硯、スレート、クラフト製品等）生産に関わる復興に向けた短期的課題や中長期的課題を抽出し、伝統的工芸品として持続可能な方策や、生産再生や商品企画、販路拡大や情報発信などの具体的な方向性を探り、さらには地域資源や歴史、物語や魅力等を再構築し、復興の糸口となるビジョン策定を行うことを目的とする。

【事業実施状況・成果】

◆復興ビジョン検討委員会の設置及び開催

- 第1回委員会：7月20日（雄勝町総合支所会議室）
- 第2回委員会：10月12日（東北工大一番町ロビー）
- 第3回委員会：12月3日（東北工大一番町ロビー）
- 第4回委員会：2月25日（東北工大一番町ロビー）

◆ワーキンググループの設置及び開催

- 第1回WG：9月21日（東北工大一番町ロビー）
- 第2回WG：11月9日（雄勝町）
- 第3回WG：11月16日（アエル復興大学）
- 第4回WG：1月24日（東北工大長町キャンパス）

【成果】

- 短期課題：ホームページの検討と作成
組合HPは、震災後、見直し更新のないまま経過していた。外部との受発信にはHP作成は不可欠であり、緊急課題対応としてHPを新たに立ち上げを行った。
- 中長期課題：復興ビジョン「テーマ：雄勝石産業の復活を核とした生産とくらしの再生」の検討と策定
雄勝地区の持続可能な社会を見据えた3年程度のアクションプランの策定を行った。

【今後予想される事業効果】

- ・ホームページ作成により、迅速な外部との情報の受発信が可能となった。今後も作成したホームページを基に、外部との情報交換を密にし、組合活動を促進したい。
- ・復興ビジョンの策定により、地域の復旧・復興に向けての組合活動が明確となった。雄勝地域は大きく被災しているが、組合や学術機関等との連携により持続可能な地域を目指した方向性と具体的な活動計画が提案され、今後の組合活動の指針となった。